

☆ 米 国

化繊設備 IVL、Huvis と合併でポリエステル S 工場建設へ

1月16日、タイの大手PETメーカーIndorama Ventures Limited (IVL) は、韓国大手ポリエステルメーカーHUVISと50:50の合弁企業を設立、米国国内にポリエステル短繊維工場を建設することを明らかにした。

工場建設地は最終調整中であり、建設認可等の手続きが順調に進めば、2018年中に合弁企業の設立が完了し、2019年中に工場は稼働開始する計画。

新工場では最新の技術が導入され、主に低融点ポリエステル繊維が生産される。設備能力は年産6万ト、米国政権の減税政策もあり、稼働当初は米国国内向けを中心に販売される予定であり、将来的には近隣諸国への販売を視野に入れている。低融点ポリエステルは、主に、自動車、産業資材、詰め綿等の用途に用いられ、IVLによると、低融点ポリエステルの需要は年率8%で拡大しているという。

IVLでは、今回の合弁事業設立の背景として、IVLが米国国内でPTA、EGなど豊富な原料供給ソース、優れたグローバル管理能力、ポリエステルに関する国際的なコスト競争力等を有していること、HUVISの優れた技術力、米国における顧客との強いネットワークなどから両社には補完関係があり、合弁企業の設立によるシナジー効果が期待できるとしている。

なお、米国では、中国、インド、韓国、台湾産の細デニールポリエステル短繊維輸入に対して暫定反ダンピング(AD)税が賦課されている。